

平成29年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

プロジェクト応援型

寄付者の方から使い道を特定して福井県にいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成29年4月から平成30年3月までに
使い道を特定していただいた寄付

件数 816件

寄付金額 54,953,424円

① ふるさと母校応援

寄付金額 28,438千円

- 福井県内の各高校で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の1/2は指定先の高校へ、残りの1/2は返還の必要のない県全体の給付型奨学金制度「きぼう応援奨学金」に活用しました。
- いただいた高校では、生徒たちの学習に必要な物品の購入やスポーツ用具等の購入、海外研修の実施に活用しました。
- 平成27年度から毎年約20名の生徒に対して、「きぼう応援奨学金」を3年間給付しています。



生徒からの感謝の手紙



自習用個別ブースの整備

② 福井しあわせ元気国体・障スポ応援

寄付金額 15,232千円

- 平成30年度に福井県で開催される国体・障スポに向けて、寄付金を次の目的に使用させていただきました。
- 障害者大会の運営費（バリアフリー環境の整備）
 - 大会を契機とした次代に残る環境整備
 - 来県者の心に残る福井流のおもてなし県民運動
- 障害の有無にかかわらず、すべての人がスポーツの素晴らしさと感動を共有できる大会をめざし、国体と障害者スポーツ大会の融合を進めます。



③ 高校生の長期海外留学支援

寄付金額 9,623千円

- 高校生のきぼう実現を応援し、国際社会で活躍できる人材を育成するため、平成28年度から高校生の長期留学に対する返済不要の奨学金制度を設け、皆様からいただいた寄付金を財源に、1年以上の留学に対して奨学金を給付しています。
- 平成29年度は、アメリカやドイツに留学する高校生4人を奨学生として採用し、奨励金を給付しました。



奨学生が留学している UNITED WORLD COLLEGES の学生たち

④ 福井城山里口御門の復元

寄付金額 772千円

- 県都の新たなシンボルとする「福井城址公園」整備の第一歩として、福井藩主が登城する際に通った「山里口御門」の復元整備を進めてきました。
- 平成29年度は、櫓門、棟門、土塀などの建物工事で御門周辺の外構工事を行いました。平成30年3月に御門の復元整備が無事に完了し、3月24日に完成式典を開催しました。
- 完成した門の2階にある櫓では、福井城や山里口御門の説明パネルや映像を展示しています。福井県にお越しの際は、是非お立ち寄りください。

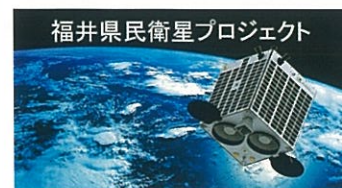


復元した山里口御門

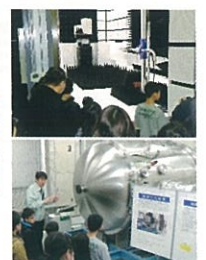
⑤ 福井県民衛星プロジェクトの応援

寄付金額 533千円

- 福井県では、地方発の新たなビジネスモデルとして、産学官金が協力し、超小型人工衛星の2020年度打ち上げを目指しています。
- 平成29年度は、宇宙空間に近い環境で機器の動作を確認する大型電波無響室と熱真空試験機を整備したほか、3月11日にJAXAタウンミーティングを開催しました。
- 本プロジェクトを通じ、宇宙産業への県内企業の参入を促進するとともに、衛星データを活用し、防災・農業・教育など幅広い分野で県民生活の向上を目指します。



福井県民衛星プロジェクト
県工業技術センターに整備した機器
右上：大型電波無響室
右下：熱真空試験機



⑥ 若者チャレンジの応援

寄付金額

215千円

- 担い手不足により参加者が減少している美山地区の「じじぐれ祭」など7つの祭りに若者たちの参加を呼びかけ、応援しました。
- 若者グループが提案・実施する地域活性化のプランコンテストを開催し、応募のあった17プランのうち、越前和紙を使用した灯りイベントなど7プランを採択し支援しました。
- 地域を盛り上げるため、学生パワーを結集した大規模な合同大学祭を開催しました。



地域の祭りに参加



地域活性化プランコンテスト

⑦ 「福地鶏」普及の応援

寄付金額

110千円

- 福地鶏の年間譲渡羽数が予定の2,400羽を超え3,000羽となりました。また、生産農家も予定の8戸から5戸増え13戸となりました。
- 初譲渡会、たまごの初売り会、たまごを使ったスイーツ発表試食会など生産者、流通業者、スイーツ製造販売業者等が一丸となってイベントを開催し、県民に福地鶏をPRしました。



初譲渡会



「福地鶏」のたまごPR

※その他、「毛矢の繰舟」運行の応援に30千円のご寄付をいただきました。

大雪支援のふるさと納税についてのご報告

平成30年2月4日から大雪に際し、全国の皆様からふるさと納税と応援メッセージをいただきました。いただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成30年2月11日から3月末にいただいた寄付

件数

557件

寄付金額

12,168,071円

① 子どもたちの通学路の除雪

- 小中学校118校の500m以内の歩道除雪に活用しました。



② 農業用ハウスの復旧支援

- 倒壊した農業用ハウスの再整備支援に活用します。



平成29年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

使い道のご指定なくいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

使途を定めず
いただいたもの

平成29年1月から12月までに
いただいた寄付

件数

108件

寄付金額

6,917,000円

① 未来のパラリンピアン支援事業

寄付金活用額

1,700千円

- 県内の障害者トップアスリートが日本代表選手として出場する国際大会や代表合宿への遠征費等の支援を行っています。
- 平成29年度は7名の障害者アスリートを応援し、アジアパラユース競技大会やロンドンマラソン大会などに出場しました。



② 芸術教育推進事業

寄付金活用額

1,600千円

- 小・中の推進校を設け、バイオリン・ピオラ・チェロを貸与しています。
- 小・中・高の弦楽推進校に年間を通してプロ奏者を派遣し、児童・生徒が豊かな音色を間近に聴きながら技術指導を受けられるようにしました。
- 児童・生徒・指導者が一流の弦楽奏者の演奏を聴いたり、指導を受けたりする機会を設けました。



県庁ホールコンサート



一流奏者による訪問演奏

③ 「かるた王国福井」の全国発信・次世代育成事業

寄付金活用額

1,617千円

- トップレベルの選手を多数輩出している本県を「かるた王国福井」として全国に発信するとともに、次世代の育成を図っています。
- 県では、平成29年6月の全国競技かるた女流選手権大会、8月の第70回記念全国競技かるた福井大会開催を支援するとともに、インターネットにより大会の様子を全国に発信しました。



全国競技かるた女流選手権大会



全国競技かるた福井大会

※その他、子どもたちの通学路の除雪事業に2,000千円を活用させていただきました。